

今号のトピックス

- どう変わる石川!
“北陸新幹線”
- 石川の発展に向けて連携
“議員連盟”が活動中



写真／歴代議長の顔写真が並ぶ議場前のロビー

県議会

いしかわ

かきづばた
杜若像

石川県の代表的な伝統芸能のひとつである能の「杜若」の舞い姿を表したものであり、昭和28年、広坂旧県庁舎の議場に設置され、以来、半世紀にわたり論戦を見守ってきました。現在は、議会庁舎1Fのエントランスホールに飾られています。

2015年 春の金沢開業迫る どう変わる石川! “北陸新幹線”

2015年春の北陸新幹線金沢開業が迫ってきました。首都圏と石川を結ぶ大動脈の完成は、観光やビジネスなどさまざまな分野で飛躍を目指す上でとても大きなチャンスです。石川県議会では、その効果をより高め、県内全域に波及していくため、“北陸新幹線”をキーワードとした活発な議論を展開しています。



6月定例会でも 大きなテーマに

6月11日～28日に開かれた石川県議会定例会でも、北陸新幹線をテーマにさまざまな角度から質問し、県から明確な回答を引き出しました。

6
14

-6月定例会代表質問-

Q. 県では、観光誘客の指針となる「新幹線開業PR戦略実行プラン」を策定した。今年度は具体的にどんな計画を実行するのか。

A. 10月にある東京の「日本橋・京橋まつり」のパレードで能登のキリコを披露するほか、食や物産なども販売し、新幹線開業と石川の魅力をPRする。また、金沢駅などの観光情報センターの職員を対象にスキルアップ研修を実施し、観光客を迎えるための準備に力を注ぐ。

Q. 熊本県の「くまモン」など先行事例を参考に、郷土にちなんだユニークで愛らしいマスコットキャラクターを制作してはどうか。

A. 県の魅力を具体的・効果的に発信していくには重要な手法の一つ。開業に向けたキャッチコピー「いしかわ百万石物語」を象徴するようなデザインや活用方法などについて、専門家の意見も聞きながら、早急に方向性を取りまとめたい。

Q. 金沢開業が迫る今こそ、外国人観光客に魅力ある広域観光ルートを開拓・提供し、新たなルートとして世界に情報発信すべきだ。

A. 北陸新幹線の沿線自治体や訪日旅行を扱う旅行会社などとともに、首都圏から上信越、北陸を巡り、小松空港から帰国したり、さらに京都・大阪まで足を伸ばしたりするなど、新幹線開業後の新たなゴールデンルートをまとめた旅行商品を企画する予定だ。

Q. 金沢開業後も金沢一敦賀間の整備が進められる。そんな中、白山市では白山駅構想が持ち上がっている。知事の心意気を聞きたい。

A. 私も今年2月に設立した白山駅建設期成同盟会の顧問に就任させていただいた。新駅の設置には、JRの理解や国の工事実施計画の変更認可が必要で、そのための課題一つ一つを解決していくかなければならない。県としても白山駅建設期成同盟会の活動に協力していく。

開業効果を全県へ。 「二次交通」充実を

新幹線効果を全県に行き渡らせるためには、二次交通の充実が欠かせません。また、開業後に住民の足となる並行在来線対策も大きな課題と言えます。

4
26

総務企画委員会

Q. 新幹線で金沢に来た後、能登・加賀への誘客を進めるため、目的地に向かうまでも楽しめる観光列車の実現を後押ししてほしい。

A. 県内各地に足を運んでいただくためにも観光列車は有効な手段だ。導入を判断するJR西日本を今年2月に訪問した際も、谷本知事が同社社長に直接要請し、前向きに検討したいとのコメントをいただいている。今後も、あらゆる機会を通して働きかけを続けていく。

首都圏中心に 観光PRを 積極的に

北陸新幹線金沢開業を首都圏との交流人口拡大の起爆剤とするには、積極的な広報活動が不可欠。あの手この手のPR策について、議論を深めています。

5
28

商工労働公安委員会

Q. 東京・有楽町の県のアンテナショップはあまりいい場所とは言えず、現在、新たな物件を探しているとのことだが、新幹線PRのためにも、できるだけ早く準備を整えてほしい。

A. 移転場所はアンテナショップ機能強化検討委員会で検討を重ねている。不動産関係者などに協力をお願いし、情報を集めているところで、最適な場所を早く見つけ、具体的な検討を進めていきたい。

次回は
9月に定例会を
開催

県議会へ傍聴に行こう！

本会議や委員会は、誰でも傍聴できます。傍聴は、本会議や委員会の当日に議会庁舎1階で受け付けています。また、県議会ホームページでは、本会議の様子を中継しています。さらに、議事録を検索してご覧になることもできます。

詳細はホームページをご覧ください。

石川県議会

検索

6
5

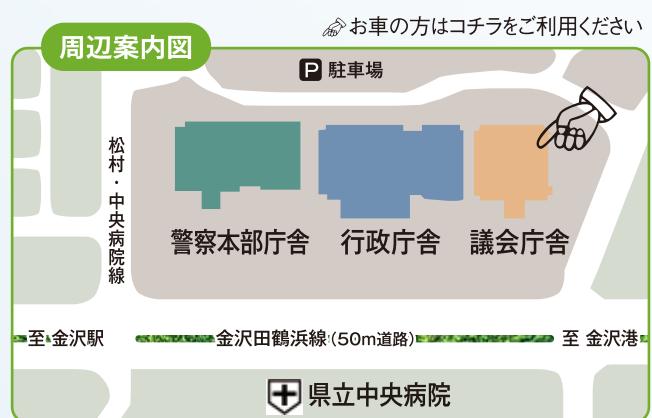
新幹線対策特別委員会

Q. JRから経営分離される並行在来線は、経営上、運賃を上げざるを得ない。その分、利用者に見える形で付加価値を高めてほしい。

A. おっしゃる通り、利用者の運賃に対する関心は高い。ダイヤ編成で利便性に配慮するなど小さなことも含めて、幅広く先進事例を調べていきたい。また、利用者がどういった形のサービスを望んでいるかも十分に検討し、並行在来線のあり方を考えていく。



周辺案内図



* 石川の発展に向けて連携“議員連盟”が活動中

石川県議会では、さまざまな目的に応じて趣旨に賛同する議員で結成する「議員連盟」が多数活動中。県勢の発展を目指した多彩な取り組みに力を注いでいます。

* 北朝鮮拉致問題解決促進石川県議会議員連盟

6月20日に発足！ 担当大臣招き全国集会を開催

北朝鮮による拉致問題は、重大な主権と人権の侵害です。拉致問題の1日も早い解決を目指し、今年6月20日に県議会議員37人で「北朝鮮拉致問題解決促進石川県議会議員連盟」を発足しました。今後、政府や関係機関への救出の要請や同じ目的を掲げる団体との情報交換などに取り組んでいきます。6月22日には、金沢市で全国集会「すべて

の拉致被害者を救出するぞ！石川集会」を主催。古屋圭司拉致問題担当大臣をはじめ、関連団体の方々が参加し、力を結集して問題にあたることを確認しました。



早期解決を目指し、さまざまな取り組みに力を注ぎます

* 小松空港国際化推進石川県議会議員連盟

* 能登空港利用促進議員連盟

新たな国際定期便の就航も視野に活動

県内2空港の活性化に取り組む議員連盟を発足しています。小松空港関連では、ソウル・上海・台北の定期便の利用促進に加え、タイなど新たな旅客便の就航に注力。能登空港関連では、昨年10月に新幹線が全線開通

小松空港
マスコットキャラクター
こまQ



能登空港
マスコットキャラクター
スカイのつぴー



県内2空港の活性化に力を！

した九州の鹿児島・佐賀県を視察し、北陸新幹線開業後を踏まえ、飛行機と鉄道を組み合わせた旅行商品の取り組みについて調査しました。

* 日中友好促進石川県議会議員連盟

* 日韓友好促進石川県議会議員連盟

* 日印友好促進石川県議会議員連盟

* 日台友好促進石川県議会議員連盟

小松—台北便のデイリー化を後押し

中国や韓国、ロシア、台湾との友好促進を目的とした議員連盟を結成。経済や観光、芸術・文化など多方面での交流に取り組んでいます。昨年10月には、日台友好促進石川県議会議連が台湾を視察し、谷本知事や県執行部とともにエバー航空を訪問した際には、小松—台北便の週5便から1日1便のデイリー化増便を引き出しました。



目
架け
と
海
外
の
橋
を

* 森林・林業・林産業活性化推進

* 石川県議会議員連盟

* 伝統的工芸品産業活性化

* 石川県議会議員連盟

伝統工芸を首都圏に発信

議員連盟では、森林・林業・林産業や伝統工芸産業の振興を目指す活動も積極的です。今年2月には、伝統的工芸品産業活性化石川県議会議連が東京を視察。全国の伝統的工芸品を世界に発信する「伝統工芸青山スクエア」の伊藤千恵子館長らと意見を交換するなど、効果的な情報発信について考えを深めました。



県議会の活動を伝える広報紙

県議会 だより

編集・発行／石川県議会(年4回発行)
平成25年7月29日発行

お問い合わせ

石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。

ぜひ皆さまの思いを、県議会に教えてください。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp